



学校通信

柏原小だより

命が一番！健康第一！

・・・地域と共に伸びる 笑顔あふれる柏原小学校・・・

令和2年8月7日
狭山市立柏原小学校
在籍児童数530名
電話 2953-5862
校長 井上 健

通知表が変わりました！狭山市統一形式

少しだけ難しい話になりますが・・・小学校の「学習指導要領」が改訂になり、今年度から、全面实施となっています。

「学習指導要領」とは、全国どこの学校でも一定の教育水準が保てるように、文部科学省が定めている教育課程の基準です。およそ10年に一度、改訂しています。子供たちの教科書や時間割は、これを基に作られています。

子供たちが将来、社会に出るときには、今よりもグローバル化の進展や人工知能の飛躍的な進化など社会が加速的に変化していることが予想されます。そんな中で生活していく子供たちにどんな力が必要なのか、それを見据えて「学習指導要領」はその時代にあった内容に改訂しています。

将来の予測が難しい社会の中でも、よりよい人生や社会の在り方を考え、試行錯誤しながら問題を発見・解決し、新たな価値を創造していくとともに、新たな問題の発見・解決につなげていくことができる力の育成が今の子供たちには求められています。

そこで、毎学期末にご家庭に返している「通知表（あゆみ）」についても、少々内容が変わってきています。また、今年度より、狭山市内公立小・中学校では、全体で同じシステムを使い、統一した形式で「通知表」を作成しています。

特に各教科においては、今までは昨年度までの学習指導要領に示されていた4観点を中心に評価していましたが、今回からは、新しい観点「学力の3要素」に基づき、それぞれの教科は主にこの3観点で評価するようになりました。（上図参照）

さて、本日、その「通知表」をご家庭にお返ししました。「通知表」を簡単に言うと、「1学期の学習や生活の教師からの評価」です。実は、この「評価」というのは、学習する者（子供側）と指導する者（教師側）が今後の学校生活に活用できてこそ本来の「評価」としての価値が生まれてきます。

教師側からすると、今回の「評価（の結果）」を受けて、どの子にも力が付くような授業改善の材料に活用しなければなりません。「この教科では、もっと学び合いの授業形態を取り入れなければ」や「学び合いをするまでの個への指導をもっと丁寧にやらなければ」・・・と。そして、子供側は・・・。

ぜひ、今晚、ご家庭で、【1学期振り返りタイム】を設けていただきたいと思います。ご家庭で「1学期は、どうだった？」「先生は、こう見てみたいだね。あなたは、自分自身で1学期を振り返るとどうだった？」と接し、お子様に自己評価をさせてみてください。これからの子供たちには、自分の行動を振り返り内省する力や客観的に自分のことを見る力が求められています。そして、2学期からの目標について、話が盛り上がれば最高です。

またその時には、親からの思いを一方的に話すより、お子様の考えたことや感じたことを引き出すような聞き方をし、出てきたコメントについて親の感じたことを励ますように返してあげるとよいと思います。それが、きっとお子様の自信につながると思います。

短い夏休みですが、心と体を十分に休め、2学期も、やる気に満ちた元気な子供たちと再会できることを楽しみにしております。

